



一面鏡

207-556
207-557

取扱施工説明書

施工前・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

このたびは、一面鏡をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

安全上のご注意

施工・使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡、または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

警告 気をつけていただきたい「注意」を表します。

強制 必ず実行していただく「強制」を表します。

禁止 してはいけない「禁止」を表します。

指定 指定した場所に触れないでください。

施工上のご注意

警告

- 浴室など高温多湿の場所や、屋外など水がかかる可能性のある場所には設置しないでください。部品の腐食により、落下してケガや重大事故の原因となります。
- ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。変色や変形、火災を起こす恐れがあります。
- 修理技術者以外の人は絶対に修理・改造を行わないでください。ケガや故障の恐れがあります。
- 蝶番を調整する場合、指定のビス以外のビスをゆるめないでください。ミラー扉が落下し、ケガをする恐れがあります。

- 取付位置には壁裏の補強を行ってください。取付けが不安定になり、取付物の落下によりケガや死亡の恐れがあります。
- 屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所には取付けしないでください。取付けが不安定になり、取付物の落下によりケガや死亡の恐れがあります。
- ALC壁などこの説明書に記載されている以外の壁仕様には取付けしないでください。取付強度が保てず、落下する恐れがあります。
- ミラー扉の取付けは、本体を壁に固定した後に行ってください。ミラー扉を付けたまま本体を施工すると、蝶番に負荷が掛かりミラー扉が落下する恐れがあります。

注意

- 製品に強い力や衝撃を与えないでください。破損の原因になります。
- 不陸が5mm/2mを超える場所には施工しないでください。不陸があるまま施工すると本品がひずむ恐れがあります。
- 金属たわしやクレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用しないでください。変色や変形の恐れがあります。
- 直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。変色や変形の原因になります。

- 施工する前に製品にキズ・欠け・割れなどが無いか確認してください。
- 工事完了後に固定にガタつきがないか、蝶番のゆるみがないか確認してください。使用中に落下してケガをする恐れがあります。

使用上のご注意

注意

- 鏡に急に冷水や熱湯をかけないでください。破損の恐れがあります。割れたガラスはケガや重大事故の原因となります。
- 鏡ガラスエッジに小さな欠けが生じた場合はそのまま使用しないでください。衝撃や温度の急変で全体の割れに発展する恐れがあります。
- ミラー扉にぶらさがったり、無理に開けたり閉めたりしないでください。変形・破損の恐れがあります。
- 棚板に過剰にものをのせないでください。落下してケガをしたり、変形・破損の恐れがあります。

スチームクリーナーは、製品が破損する原因となりますので、使用しないでください。

各部のなまえ・製品同梱明細

■施工される前に各部材をご確認のうえ、ご使用ください。

一面鏡本体
ミラー扉
収納部側板
ダボ用取付穴
キャビネット

化粧タッピンビス
座金
タッピンビス (4×55)
化粧キャップ

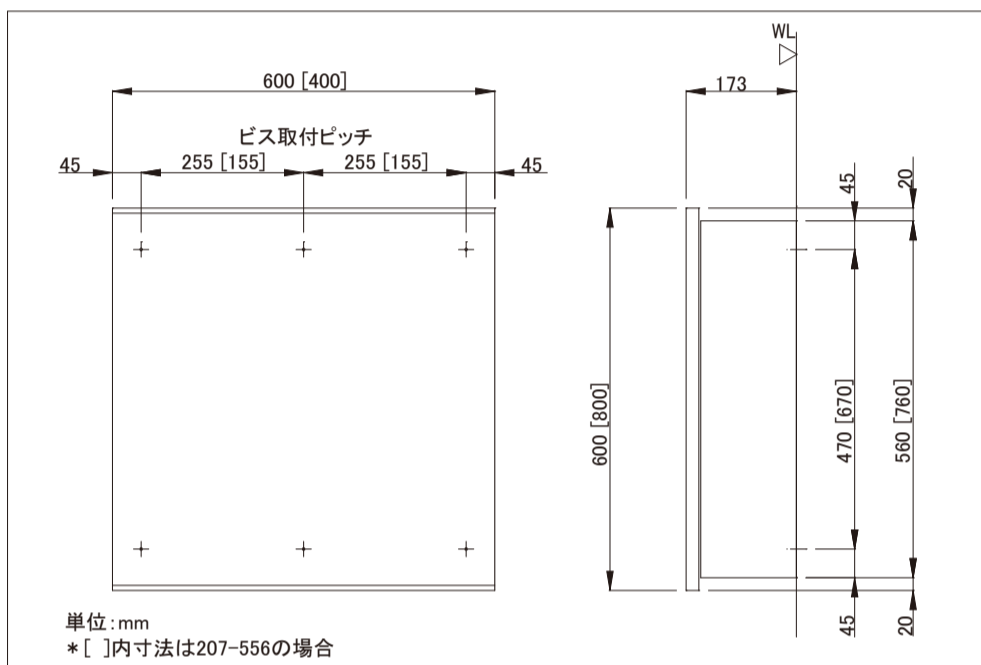
棚板
棚板用ダボセット

品番	同梱個数			
	本体	化粧タッピンビス	棚板	棚板用ダボ
207-556	1	7(*)	3	6
207-557	1	7(*)	2	4

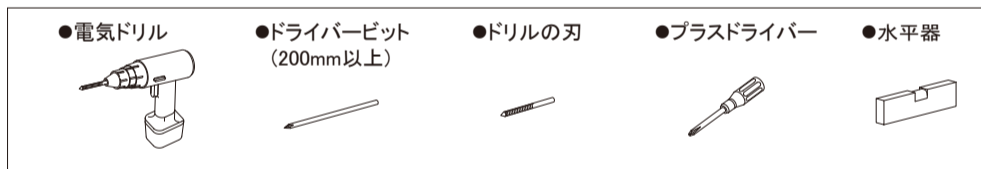
(*)予備1セット含む

*上記部材に加えて、「取扱施工説明書」を同梱しています。

寸法図

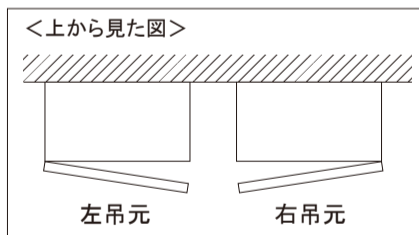


施工に必要な工具



取付けの前に

扉の開き勝手(吊元)について

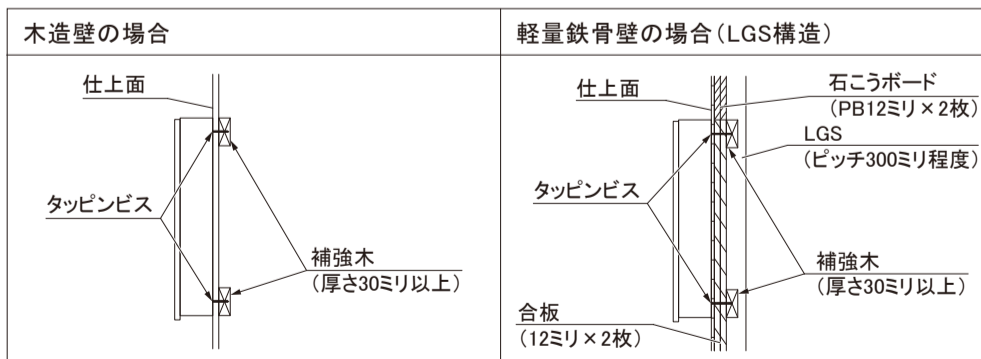


ミラー扉の上下に手がかりを設けているため、キャビネットを上下反転させることで、吊元を左右選ぶことができます。

取付場所を確認し、左吊元・右吊元を決めてください。

* 梱包時は左吊元仕様です。右吊元で設置する場合は、棚板用ダボセットを再度取付けなおしてください。棚板の取付け、取外しについては、**使用方法**を参考にしてください。

補強について



- 取付可能な壁面は上図の2種類のみです。
- 建築工事(別途工事)にて、寸法図を参考にキャビネットを固定する位置を確認し、補強木(幅80ミリ×厚さ30ミリ以上)をあらかじめ入れておいてください。
- *直接、壁の仕上材にキャビネットの取付けはしないでください。

必ず実行 ALC壁には取付けしないでください。取付強度が保てず、落下する恐れがあります。

取付けの前に(つづき)

壁の不陸について

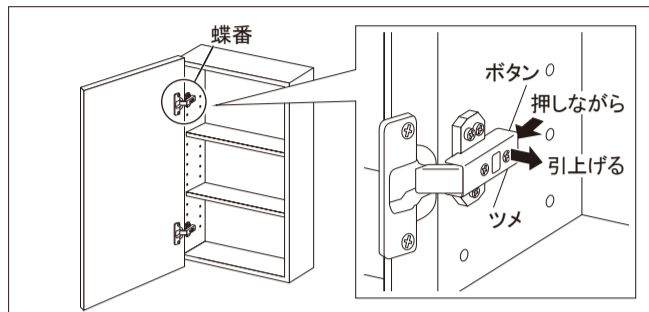
キャビネット取付壁面は5mm/2m以下であることを確認してください。
* 本体を壁に押しあて、壁とのすきまが2mm未満であることを確認してください。

注意 キャビネット取付壁面の不陸が5mm/2mを超える場合は施工しないでください。不陸があるまま施工するとキャビネットがひずむ恐れがあります。

取付方法

* 施工時に棚板がじゃまになる場合は、**使用方法**の「棚板の取外し」を参考に棚板を取外してから作業を行ってください。

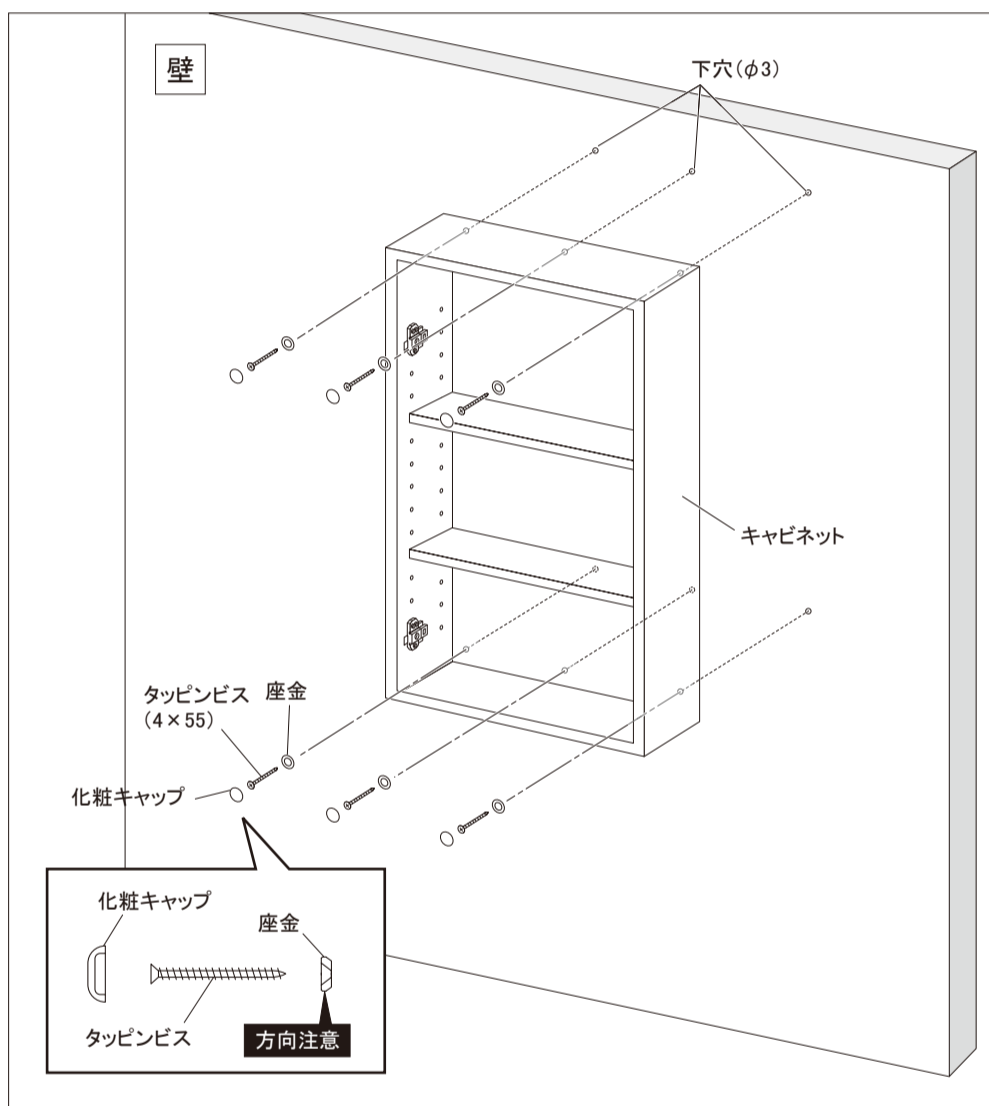
1. ミラー扉を取外します。



蝶番の裏側にあるボタンを押しながらツメを矢印の向きに引上げ、キャビネットからすべてのミラー扉を取外します。

注意 ミラー扉は重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。

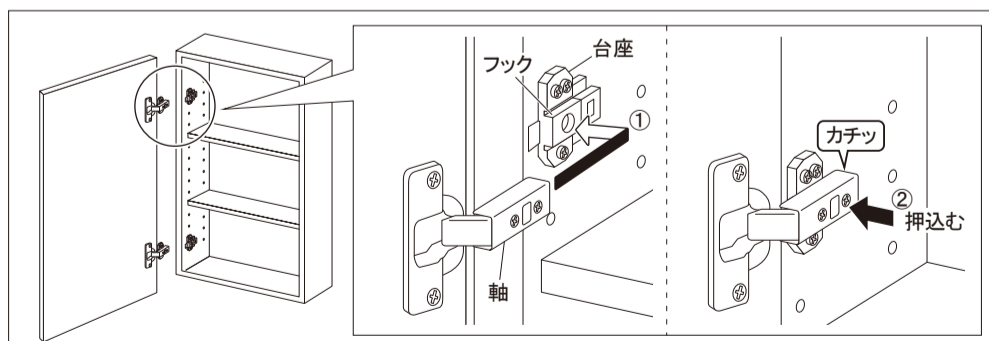
2. キャビネットを取付けます。



- ①キャビネットを壁にあて、ビス位置をけがきます。
- ②下穴(φ3)を開け、キャビネットを付属の化粧タッピンビスで壁に固定します。
* 吊元の左右を間違えないようにご注意ください。
- ③水平器でレベルを確認します。

必ず実行 ミラー扉をすべて取外した状態でキャビネットを壁に固定してください。キャビネットにミラー扉を付けた状態で壁に取付けると、蝶番に負荷が掛かりミラー扉が落下する恐れがあります。

3. ミラー扉を取付けます。

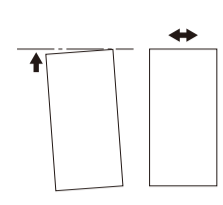
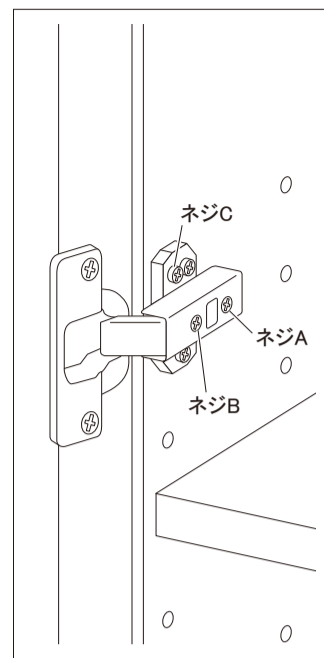


- ①蝶番の軸を台座のフックに合わせます。
- ②蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押し込みます。
* ミラー扉は上側の蝶番から取付けてください。
* 蝶番が取付けにくい場合は、蝶番のネジを調整してください。
調整方法は 4. ミラー扉を調整します。を参照してください。
- ③すべての蝶番が確実に固定されていることを確認します。

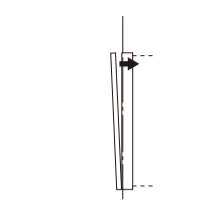
必ず実行 ●ミラー扉の取付けは、キャビネットを壁に固定した後で行ってください。キャビネットにミラー扉を付けた状態で壁に取付けると、蝶番に負荷が掛かりミラー扉が落下する恐れがあります。
●ミラー扉はキャビネットに確実に取付け、ガタツキやゆるみがないかを確認してください。

取付方法(つづき)

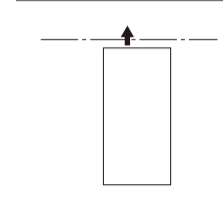
4. ミラー扉を調整します。(ミラー扉のふぞろいが生じた場合)



- ミラー扉先端を上げる・左右に調整する
- ①扉下方のネジBを左へ回して調整します。または、扉上方のネジBを右へ回して調整します。
- ②扉を閉めて確認します。
- ③正しい位置になるまで①②を繰り返します。



- ミラー扉と側板の隙間を上下合わせる
- ①扉上方のネジAを左へ回して調整します。または、扉下方のネジAを右へ回して調整します。
- ②扉を閉めて確認します。
- ③正しい位置になるまで①②を繰り返します。



- ミラー扉の高さを調整する・合わせる
- ①扉上下のネジCを左へ回して調整します。
- ②扉を閉めて確認します。
- ③正しい位置になるまで①②を繰り返します。

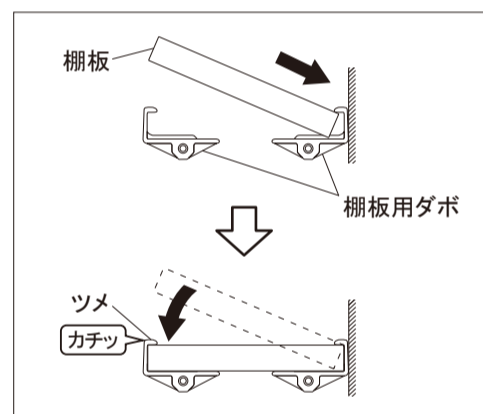
禁止 指定のネジ以外はゆるめないでください。ミラー扉が落下しケガをする恐れがあります。

施工後の確認

- ①各部材の取付ネジが十分に締まっていることを確認してください。ゆるみがある場合は十分に締め直ししてください。
- ②各部材のガタツキや壁とのすきまがないか確認をしてください。ガタツキやすきまがある場合は必ずネジ取付位置を変えて取付け直ししてください。
- ③キャビネットと扉のすきまが2mm未満であることを確認してください。すきまが2mm以上ある場合は、調整を行ってください。

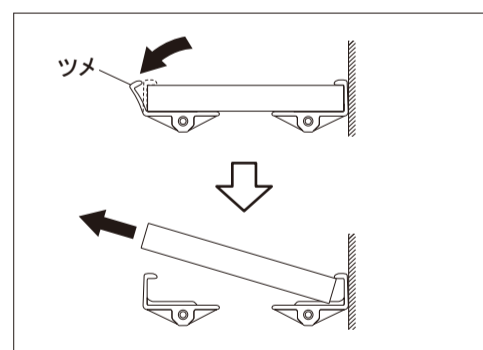
使用方法

棚板の取付け



- ①キャビネット内の収納部側板の取付穴に棚板用ダボ4個を根本までしっかりと差込みます。
* 棚板の高さは棚板用ダボの差込位置により決まります。
- ②棚板の奥を棚板用ダボのツメに差込みます。
- ③棚板の手前を下に押さえ、棚板用ダボのツメに「カチッ」となるまではめ込みます。

棚板の取外し



- ①手前側の棚板用ダボのツメを棚板から外します。
- ②棚板を斜め上に引抜きます。

お手入れのしかた

日ごろのお手入れ (いつまでも美しくご使用いただくために)

中性洗剤をしみこませた布またはスポンジで拭取った後水拭きし、乾いた布等で水分をきれいに拭取ってください。キャビネット本体およびミラー扉がガタつかず、しっかり固定されているか確認してください。

注意 金属たわしやクレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用しないでください。変色や変形の恐れがあります。